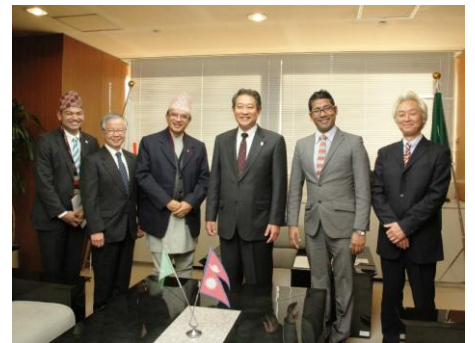


杉並区役所区民ギャラリーでの展示会をネパール大使が視察に訪れました

「杉並区民の手でネパールに学校を！」第5弾キャンペーン実施中

本日 24 日、杉並区役所に、認定 NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパンが主催する「杉並区民の手でネパールに学校を！」キャンペーンの展示会にネパール大使が訪れました。このキャンペーンは、書き損じはがきを集めて、ネパールに学校を建設しようとするもので、過去 4 回のキャンペーンでは、4 つの校舎建設を支援することができました。そのことに感謝の意を表すため、本日、ネパール大使が区役所を訪問し、展示会を視察後、区長と懇談しました。

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975 年より、アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動をしています。2010 年よりネパールでも活動を開始したところ、教室の数が不足している状況や、老朽化によりいつ崩れるかわからないような教室があることを目の当たりにし、学校を作るための支援を行うことを決定しました。



杉並区には、もともとチャイルド・ファンド・ジャパンの事務局があることに加え、在住外国人数（12/1 現在総数：11,447 人）は、中国（4065 人）、韓国・朝鮮（2514 人）に次ぎ 3 番目に多く（920 人）、また世界初の在外ネパール人学校「エベレスト・インターナショナルスクール・ジャパン」もあることから、チャイルド・ファンド・ジャパンが杉並区に協力を要請したのも自然な流れでした。杉並区は、区内の子どもたちの国際交流の良ききっかけになればと快諾し、区内の小中学校に書き損じはがきの回収ボックスを置いて、協力することになりました。過去 4 回のキャンペーンによって、4 つの校舎がネパールで建設、改築され、大勢の子どもたちが新しくきれいな教室で勉強できるようになりました。

杉並区役所を訪れたマダン・クマール・バットライ大使は、展示会をじっくりと視察したあと、区長と懇談し、「杉並区の子どもたちが大きく関わってくれたこのキャンペーンのおかげで、ネパールに校舎を造ることができ、本当に感謝しています。今後も、大使館としてお手伝いできることがあればいつでも協力し、杉並区とネパールのさらに深い交流につながればとても嬉しい。」と話しました。

今回のキャンペーンでは、15,000 枚のはがき（70 万円相当分）の回収を目標にしています。

杉並区民の手でネパールに学校を！

主催：認定 NPO 法人 チャイルド・ファンド・ジャパン

集めているもの：未使用の（書き損じた）年賀状、官製はがき、未使用の切手

受付期間：27 年 2 月 28 日まで

送付先：〒167-0041 東京都杉並区善福寺 2-17-5 チャイルド・ファンド・ジャパン すぎなみ係宛

【問合せ先】

認定 NPO 法人 チャイルド・ファンド・ジャパン 電話 3399-8123 担当：小保方さん